

月曜日

22

きょうのみことば

ローマ 14:13~23

ですから、^{わたし}私たちは、
もはや互いにさばき合う
ことのないようにしま
しょう。いや、それ以上に、
兄弟にとって妨げになる
もの、つまずきになる
ものを置かないように
決心しなさい。(13)

レベルを変えよう！変えよう！

4 年になったミサキは、^{がっきゅういんちようせんきよ こうほ}学級委員長選挙の候補に名前が上がり
ました。ミサキは、^{がっきゅういんちよう}学級委員長になりますようにと毎日熱心
に祈りました。^{がっきゅういんちよう せんきよ}学級委員長の選挙の日になりました。ミサキは、
胸に手をつけてみました。ドキドキしていました。

「^{わたし}私がどれくらい祈ったか。かならずなるよ。そうでしょう、
神様」ミサキは、あせる思いで投票結果を待ちました。ところ
で、どうしたことでしょう。たったの一票差で委員長になれな
かったのです。

レムナントのみなさんも、なにか思うようにならないことがあ
りますか。すべてのことが神様の御手にあります。これを「神
様の絶対主権」と言います。

神様は問題を通して ^{わたし}私たちが神様の祝福を分かるように導
いてくださっています。

レムナントのみなさん、重くてむずかしい問題がありますか。

神様にすべて出してみてください。水道の蛇口からあふれる水
のように話をしてください。水道の水はあふれてなくなりま
すが、祈りを通して神様にすべてまかせた考えと心は、新しい
祝福で時間がすぎれば、どんどん一つ一つ答えでかえってき
ます。

^{わたし}私たちは創造主の神様の霊を受けたので、神様を「お父さん（パ
パ）」と呼べる身分なのです。神様から新しい力を受けましょう。
はやく祈りの蛇口をあけてみましょう。ざあざあと答えがあふ
れます。

^{わたし}私の祈りに耳をかたむけてくださる神様に感謝します。^{わたし}私の心にはまった考えと心が神
様の考えと心になしかなることを願います。^{わたし}私を変えてくださるインマヌエルの神様を
最高に味わう私になるよう、イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時□—教会のために祈りましょう。夜 9 時—RUTC のために祈りましょう

わたし
私の悩みはちがう！



ヨブはみことばをのがすかと思って悩みました。神様のみことばを
さとれないかと思って心配しました。みなさんは、どんな悩みをしていますか。
自分の悩みを書いてみましょう



火曜日

23

きょうのみことば

使徒 2:1~4

すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。(4)

言いわけは私^{わたし}のものではない！

おこずかいをたくさんもらう友だちを見るときごとに「私^{わたし}はまずしいからだめだ」、学校で一番ばかりになる友だちと話をするときごとに「私^{わたし}は勉強^{べんきょう}ができないからだめだ」、かっこいい友だちを見れば「私^{わたし}は見た目も悪い」と言いながら、自分を傷つけるのですか。レムナントのみなさん、福音の中にすべてが、全部、入っています。

でも、なぜむずかしいことがあるのでしょうか。敵である悪魔が、もっともらしいと見える言いわけと行動を持って、私^{わたし}をがっかりさせようとだますからです。しかし、問題の中には神様の計画があります。問題がどんなにあっても、このようにしてみてください。

「神様の計画はなんですか。教えてください」
そうすれば、その時から、こんがらがっていた問題が、からんでいた糸がとけるように、さらさらととけ始めます。
その次に、時間を定めておいて、今日、にぎったみことばを黙想してみてください。一度、二度してみるならば、心配がきえて、ますます幸^{しあわ}せになります。また、いつのまにか、心と思いがいやされます。それで、どんな問題にも心が痛むことにも、これ以上、傷つかないで、人を配慮できる内的な力が生まれます。なぜでしょうか。福音の中にはイエスいのち、イエスカ、イエスいやしのすべての祝福^{しゅくふく}がふくまれているからです。

私^{わたし}をととてもよく知っておられる神様、私^{わたし}とともにいてくださってありがとうございます。キリストの中でいのちの力と祝福^{しゅくふく}を味わう今日にならせてください。そして、神様に感謝と賛美と栄光をささげる私^{わたし}になるように導いてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 □ 教会のために祈りましょう。夜 9 時 □ RUTC のために祈りましょう

神様のみことばを植えよう！

福音を味わいたいですか。それなら、心に神様のみことばを植えるべきです。したにあるみことばを書きうつしてみましょう。そうして、一度、声を出して読んでみましょう。ただ読むのではなく、深く心にいれるなら、神様のみことばを体験するようになります。神様のみことばを体験すれば、ただ福音だけを味わうようになり、24 時間 幸^{しあわ}せな時間を送るようになります。

書いてみよう



五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起り、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。

水曜日
24

きょうのみことば

使徒 1:8

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

ただ伝道で 幸せです

誕生日プレゼントとして、リボンできれいにした誕生日カードを作ってみましょう。このカードをもらって喜ぶ友だちを思いながら<子どもの祈りの手帳>と<神様に会う道>の伝道トラクト、そして、直接書いた証しの文章もいっしょに入れてみてください。

レムナントのみなさん、これまで伝道をむずかしく思っていたでしょう。伝道はむずかしくありません。このように、友だちに誕生日プレゼントで伝道資料をあげることも伝道です。伝道は、私を通してキリストの香りが流れ出て、自然になっていくことです。

どのように、そうなるのですか。友だちが見るには、確かにがっかりすることなのに、あきらめることなのに、がまんできなくて怒ることなのに、にこにこ笑っていれば、友だちがきてたずねます。

「なにがそんなに幸せなの」

それでは、その時、聖書の中レムナントのように、このように話せばよいのです。

「神様が私とともにおられるインマヌエルを体験しているから、前はしんどかっただけの勉強が、運動が、伝道が、祈りが、今は、すればするほど、またしたくて私を幸せにさせるの」みなさんに、この告白が本当にできれば、レムナントのが行く所ごとに祝福が臨んで、霊的に生かされます。みなさん、この答えを体験する今日になるように願います。

私たちに福音をくださった神様に感謝します。ただキリストの中で私を見つけることを願います。今日もただ福音、ただ祈り、ただ伝道を味わうように、新しい力をあたえてくださる神様を信じます。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時□—教会のために祈りましょう。夜 9 時—RUTC のために祈りましょう



罪のゆるしの確信

女は、イエス様を見上げました。するとイエス様がおっしゃいました。

「だれもあなたを罪に定めませんでしたか」

女は、イエス様に答えました。

「はい。だれもいません、主よ。だれも、だれもいません」

イエス様は、女を立て起こしながらおっしゃいました。

「わたしもあなたを罪に定めません。行きなさい。そしてふたたび罪を犯してはなりません」

姦淫した女は、自分をゆるしてくださったイエス様の恵みに感謝して、とめどなく涙を流しました。このように、イエス様は私たちのすべての罪をゆるしてくださるまことの祭司です。レムナントのみなさん、罪のゆるしの確信を持ってください。それでこそ、罪意識によって、罪に定める気持ちで私たちをだまそうとするサタンの策略にだまされることはありません。

姦淫してつかまった女

「あそこにイエスがいるよ。」

「はやく引っぱって行こう！」

あるパリサイ人が目をくばせをして、人々がひとりの女をずるずる引っぱって来ました。

そして、イエス様の足の下に投げすてました。

「先生、この女は他の男と

関係(姦淫)を結んで

現場でつかまえられました。

どのようにすれば

よいのでしょうか？

モーセの律法では

こういう女は石で打って

殺せと言っています。先生は私たちになんとおっしゃいますか？」

その場に集まった人々は、イエス様がどのようにに語すのかじっと見まもっていました。彼らはイエス様をうったえるための材料を得るためにイエス様を試みたのでした。

でし 弟子を立てる伝道者 でんどうしゃ

木曜日
25

きょうのみことば

使徒 2:1

五旬節の日になって、
みなが一つ所に集まっていた。

マルコの屋上^{おくじょう}の間^ま（タラッパン）に集まった人々^{ひとびと}は、福音^{いがい}以外^{いがい}はなにもない人々^{ひとびと}でした。しかし、福音^{いがい}のゆえに、だれも止めることができない奇跡^{きせき}を体験^{たいけん}しました。それで、彼らはどんな迫害^{はくがい}にも屈^{くつ}しないで、だまって福音^{いがい}を伝えたのです。

レムナントのみなさん、みなさんも初代教会^{しよだいきやうかい}の信徒^{しんとう}のように、霊^{れい}のトップに上らなければなりません。下から山^いのてっぺんを見つめながら、ため息^{ためいき}だけついていては、てっぺんに上^あがれません。ひとまずてっぺんに立って下を見おろせば、大変^{たいへん}だったあの道^{みち}、どろの穴^{あな}、けわしいがけなどが見えます。しかし、上^あってみれば、全部^{ぜんぶ}、答えの道^{みち}、成功^{せいこう}の道^{みち}、勝利^{しょうり}の道^{みち}であったことを告白^{こくはく}します。

また、道^{みち}に迷^{まよ}わないで安全^{あんぜん}に上がることができるように、他の友だち^{ほか}に道^{みち}を案内^{あんない}する余裕^{よゆう}も生まれます。問題^{もんだい}をこえて、信仰^{しんこう}で霊^{れい}的なトップに立てば、重要^{じゆうよう}な鍵^{かぎ}を受けようになります。その鍵^{かぎ}は、まさに祈^{いの}りです。祈^{いの}りをすれば、未来^{みらい}がはっきりと見えて、神様^{けいかく}の計画^{けいかく}にしたがって、みことばが成就^{じゆうじゆ}する答えを体験^{たいけん}します。その時から、ただイエス・キリストのほかに、他の答え^{ほか}がないという唯一性^{ゆいいつせい}の証拠^{しやうこ}を持って世界^{せかい}を福音^{いがい}化する堂々^{どうどう}とした福音^{いがい}エリートのモデルになることができます。

祈^{いの}ることができる力を毎日あたえてくださる神様^{かんしや}に感謝^{かんしや}をささげます。私^{わたし}の中に答えと祝福^{しよくふく}をのがすようにさせる障害物^{しょうがいぶつ}をなくしてください。神様^{かんしや}の子どもになった祝福^{しよくふく}を事実^{じじつ}的に味わわせてください。他の友だちも、私^{わたし}のように導^{みちび}いてくださることを信^{しん}じて、イエス・キリストのお名前^なによって祈^{いの}ります。アーメン

◎定刻祈りの点検：昼 12 時 □ 一教会のために祈りましょう。夜 9 時 — RUTC のために祈りましょう

「話してみてください。なぜじつとだまって、何にも言わないのですか」

「髪のイエス様でしょう。ゆるされるのですか」

「いや、そうだとモーセ律法^{うしあつ}を破ることじゃないの!」

イエス様は、だまっておられ、あちこちで質問^{しつもん}して、自分たち同士^{どうし}でがやがや言っていました。イエス様は静かにからだをかかめて、指^さで地面^{じめん}に字を書かれました。そして、からだを起こしながら、彼らにおっしゃいました。

「あなたがたの中で罪^{つみ}を犯^かしたことがない人が、先にこの女に石を投げなさい」

この話をして、イエス様はまたからだをかかめて、地面^{じめん}に字を書かれました。



2

人々は怒^{いか}淫^{ざん}した女に石を投^なげるために、かかんで石を取り上げました。そうするうちに、イエス様が地面^{じめん}に書かれた字を見てぎくりとして驚^{おどろ}きました。人々が一つ、二つ、手に持った石を下ろしはじめました。ある人は、うつぶんを晴らすように、持っていた石を遠く投^なげてしまつて悪口^{あくぐち}を言いました。

一人、二人、立ち去りはじめました。

「女よ。あなたをうたえていた人は、どこにいますか」

イエス様がおっしゃいました。頭を深く下げて地面^{じめん}だけ見つめていた女は、じよじよに頭を上げて周囲^{しうい}を見回しました。自分をうたえていた人々は一人も残^{のこ}っていないのです。



3

金曜日

26

きょうのみことば

1 サムエル 3：1～18

神のともしびは、まだ消えて
いず、サムエルは、神の
箱の安置されている主の
宮で寝ていた。そのとき、
主はサムエルを呼ばれた。
彼は、「はい。ここに
おります」と言って
(3～4)。

すべての試みはさっとはらおう！

ときどき、教会の中で葛藤になる姿を見ることがあります。しかし、私たちは、教会の問題で試みにあうのではなく、契約を
かたくにぎって、勝利の土台にしなければなりません。

レムナントのサムエルは、教会のいろいろな問題に関心があり
ませんでした。ただ、神様の契約の箱をいちばんたいせつに思
って、そこからはなれませんでした。不信仰に耳をかたむける
より、神様の御声を聞くことを喜びました。大きい、小さい試
みにあう事でなやんで心配するより、神様に祈りながら問題を
解決していきました。試みをなくそうと必死になってがんばる
より、ゆれぬ力を持ちました。

みなさんも、サムエルのように試みにあわずに、試みに勝つこ
とができます。まず相手を理解して、問題を受け入れれば、そ
の人があたえる問題にはまってしまうことはありません。そう
すれば、福音で勝利できます。そして、具体的な祈りの課題を
見つけて祈れば、神様がその時ごとに答えをくださいます。そ
の答えを記録しながら、みことばが成就する恵みを友だちと分
かちあえば、祝福の門がパッと開かれます。そのように見れば、
これ以上、教会の問題や個人の問題、あるいは現場の問題が、
自分に試みで迫ってきません。

問題の中で、私の霊的な目を開いてくださる神様にありがとうございます。毎日、私に
あたえられるみことばを見つけることができるように、聖霊で満たしてください。祈る力も
あたえてくださることを信じ、感謝してイエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時□—教会のために祈りましょう。夜 9 時—RUTC のために祈りましょう

教会に問題があります！

絵を見て、マコトとミカがどんな話を
しているか考えて書いてみよう



27日(土)

ゆめ 夢を持った人の とくべつ 特別なおはなし

—小説家J.K.ローリング編

みなさんは、5年後、あるいは10年後、自分の姿を想像してみたことがありますか。はたして、私はどんな姿で生きているのでしょうか。今のように、机の前に座って、熱心に勉強する姿でしょうか。そうでなければ、運動場で明るく健康に走っている姿でしょうか。

「いつも夢を見る人だけが、その夢に近づける」ということばがあります。未来に私はどんな人として生きているのか、それに対して夢を見て、その夢をかなえるために努力する人だけが夢をかなえられるということです。今日は、どんなむずかしい状況の中でも、自分が持った夢をすてずに、最後まで努力して、その夢を現実にしたひとりの特別な人の話をしましょう。私たちに、とてもよく知られている魔法使いの話がありますね。そうです。<ハリーポッター>です。丸いメガネをかけたハリーポッター魔法使いの話は、本と映画にされ、私たちにとても大きい楽しみをあたえてくれました。それなら、その小説を書いたジョアン・ローリングという小説家を知っていますか。彼女は、はじめからそのような有名な小説家ではなかったのです。2度も連続して会社をやめさせられたジョアン・ローリングは、人々に「何もできない人」と後ろ指をさされる人でした。その上、放送局の記者として仕事をしていた夫に会って



ていじくいの てんげん
◎ 定刻祈りの点検:

昼 12 時□

—教会のために祈りましょう。

夜 9 時□

—RUTC のために祈りましょう

結婚までしたのですが、生後4ヶ月になった子どもを抱いて夫と別れてしまいました。エディンバラのみずばらしい部屋で、何も持っていないまま生きていくようになったのです。すぐに食べて生きていくことが、とてもむずかしい状況でした。しかし、彼女には夢がありました。人々が後ろ指をさしても、作家になろうと思う彼女の夢はすてなかったのです。彼女は、それまで頭の中でだけ描いていた想像の中の世界を、紙の上に一つ一つ書きはじめました。

のちに彼女は「もし、私が夢をあきらめてペンを下ろしていたとすれば、私はいまごろは何になっていたでしょう。私は本当に幸せな人です。このように私がかんがえ成し遂げたかった夢を現実に成し遂げながら生きているからです」と話しながら、どんな状況の中でも夢をあきらめないことを本当の幸せだと話すそうです。ジョアン・ローリングはたしかに成功した人です。それなら、彼女が普通の人とちがった点は何だったのでしょうか。それは「夢に向かって進んだ」ということです。さあ、今からみなさんが持っている夢を心で描いてみましょう。そして、その夢を話してみてください。自分のくちびるで話す夢があるならば、みなさんはすでに特別な人だということです。その夢が世の中を明るく照らせる時まで、休まずに描いてみるようにしましょう。そのようにしていれば、いつのまにか私たちの夢は世の中で一番たいせつな宝石のように輝いていますから!

文_チョン・ヒョンミ_作家イエウォン教会

